

校長室より～「山吹の風」 No.11 R5.6.21～

本日は「夏至（げし）」。北半球では一年で最も昼の時間が長くなり、太陽の南中高度が最も高くなる日です。この日に合わせて行事や祭が世界の各地にあります。日本でも地域によっては新小麦でお餅やお団子、お饅頭を作り、供える風習があります。梅雨のただ中ですが、体感的にすでに夏の盛りを感じさせますね。（体調にご留意下さい。）

さて、朝の読書の期間もそろそろ終わりですね。わずかな時間でも真剣に読書にいそしむ姿はたのもしく、美しいと感じておりました。読書という行為は「書き手との対話」であり、「自分との対話」でもあります。今まで知らなかった世界を拓くという「知的な楽しみ」がそこにはあります。高校時代、ぜひともたくさんの良書に触れて、充実した日々を過ごして欲しいと思います。



枇杷熟れて空は青みを増しにけり 幸恵

